

MPTE AWARDS 2026

第 79 回映像技術賞 募集要項



(一社)日本映画テレビ技術協会では「映像制作技術」を対象とした賞「映像技術賞」の選定を毎年行っております。本「顕彰」は当協会の重要な事業であり、映像表現技術の探求、映像文化の高揚と産業の発展に寄与することを目的としています。制作現場の技術者による技術者に向けた表彰活動と位置づけ、技術賞の実効を高めていくためにも、会員皆様からの積極的な推薦をお願いいたします。下記内容を十分にご確認頂き、ご了承頂いた上でご応募ください。

■応募締切：2026年4月1日（水） ■送信先：seminar@mpte.jp ■受賞発表時期：2026年8月上旬

I 選定の対象

2025年4月1日より2026年3月31日まで に、日本国内で初めて公開された劇場公開作品及び放送作品を制作するために使われた技術で、特に優秀として推薦されたものについて、協会規則第10章「表彰」第68条の規定により、選定、審査、表彰を行う（※再上映、再放送、新編集版等は除き、初回公開・初回放送の日付に基づきます）。

II 候補技術の種類

候補技術は下記の通り。作品制作のために使われた映像表現技術を対象とする（※1※2を確認ください）。

※1 劇場公開作品…特別興行及び特別料金での屋外・屋内イベント、コンサートや舞台収録、特定の映画祭での限定的な公開、特殊な上映等々には該当しない、一般的な劇場での一般公開作品が対象となります

※2 放送作品…地上波・BS・有料チャンネル等の放送枠が対象です（ネット配信のみの作品は対象外）

年度内に類似作品が複数回放送されている場合も、基本は初回分が対象とお考えください

放送日時が指定できない=特定の番組に依存しない多岐に渡る内容は開発賞推薦を検討ください

撮影・照明	A : 劇場公開作品	※ 1
	B : 放送作品<ドラマ>	※ 2 (連続ドラマの場合は第1話目の提出を推奨)
撮影	C : 放送作品<ドキュメンタリー>	※ 2 (企画コーナーではなく独立した番組が対象)
	D : 放送作品<ニュース>	※ 2 (ニュース番組内で放送されたニュース映像)
録音	E : 劇場公開作品	※ 1
	F : 放送作品	※ 2 (ドラマ作品以外の音楽番組等も対象)
美術	G : 劇場公開作品	※ 1
	H : 放送作品	※ 2 (ドラマ作品以外の音楽番組等も対象)
編集	I : 劇場公開作品	※ 1
	J : 放送作品	※ 2
D V T ※デジタルビジュアル技術	K : 放送作品	※ 2 (CG技術を活用した、多様かつ高度な映像表現および技術的成果を対象とした新設部門)

◆同会社同部署から同部門へ2作品を超える推薦はご遠慮ください（別部門への複数推薦は受付可）。

（例えば…）○社○署からA部門へ3作品の推薦は不可、○社○署からA・B・Cそれぞれに1作品を推薦は可。

III 候補の推薦方法

「応募用紙」を協会宛に提出する（推薦者は候補技術者の氏名と連絡先を明記の上、その本人及び該当作品権利者に応募の了承を得た上で推薦をお願いいたします）。

IV 候補の推薦者

協会会員（個人・法人会員）、または、協力団体 <（協）日本映画撮影監督協会、（協）日本映画・テレビ照明協会、（協）日本映画・テレビ録音協会、（協）日本映画・テレビ美術監督協会、（協）日本映画・テレビ編集協会、（特）テレビ日本美術家協会、（公社）日本照明家協会> に限る。推薦者・被推薦者には、候補技術の審査の協力を依頼する場合がある。

V 審査

審査はジャンルごとに、作品試写、プレゼンテーション、データ提出の何れかで進め、被推薦者による技術資料に基づいて行われる。審査会は、会長が委嘱した有識者を審査員として技術ごとに構成され、その結論は理事会の承認を経て決定する。尚、推薦社（者）が極端に少ない技術は審査会の設置が見送られる場合がある。その際の受賞該当は無しとなり、審査見送りの発表となる。

[問い合わせ先] 一般社団法人日本映画テレビ技術協会 顕彰担当：山田 03-5255-6201 / seminar@mpte.jp